



畳の住まい方

—和室と洋室の住まい方の違いは？

【妹の話】

好きな色やデザインのカーテンや家具を置いてコーディネートが楽しめる洋室の方がいいな。

実はイグサの独特においがあまり好きではないの。

そういえば、家庭科の授業で和室と洋室で暮らし方の違いを学んだけど、おばあちゃんにも希望を聞いてみたいな。

A君の妹



教科書（p164・165）を見て、和式の住まい方と洋式の住まい方の違いをまとめてみよう。

1 章

2

住まいと気候風土の関わり

目標 □ 日本の住まいの特徴や住まいと気候風土の関わりについて理解できる。

- キーワード
- 和式
 - 洋式
 - 和洋折衷

考えてみよう

日本の伝統的な住まいや住まい方にはどのような特徴があるか考えましょう。

玄関で靴の脱ぎ履きをするね。



ほかにはあるかな？



図1 太陽の南中高度と日光の入り方



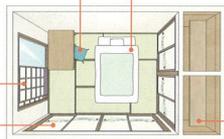
● 他教科 ● 理科 天体の動きと地球の自転・公転

日本の伝統的な住まい方

日本の伝統的な住まいでは、高温多湿で日差しが強い夏に対応するために軒やひさしがあります。その一方で、冬は太陽が南中するときの高さが夏に比べて低くなるため、軒やひさしがあっても部屋の奥まで暖かな日光が差し込むようになっています(図1参照)。また、障子やふすまなどの引き違いの戸は引き戸といい、開ける部分の面積を調整することで、取り入れる風の量を調整することができます。蒸し暑い夏を涼しく、寒さの厳しい冬を暖かく過ごすための工夫です。更に、玄関で履物を脱いで家の中に入り、畳や床に直接座るのが和式の住まい方の特徴です。畳には保温性と吸湿性があるため、冬は暖かく、夏はさらりとした感触が心地よく、日本の暮らしに適しています。

日本の住まいや住まい方は、季節や地域の気候風土に合わせて各地でそれぞれ工夫されてきました。

資料 和式の住まい方の特徴



さまざまな知恵や工夫が凝らされているんだね。



洋式の住まい方

欧米では、窓やドアは開き戸で気密性が高くつくられており、靴のまま室内に入り、ベッドや椅子を使う洋式の住まい方をしています。和式の住まいが夏の暑さに対応してつくられているのに対し、洋式の住まいは冬の寒さに対応してつくられています。

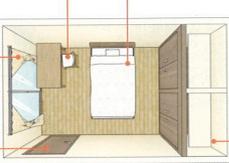
欧米と日本との気候の違いで、住まいや住まい方にも違いがみられます。

現代の日本の住まい

最近では、畳の部屋にベッドやソファを置いたり、フローリングの上にとたつを置いたりするなど、和式と洋式を組み合わせ、和洋折衷で空間を使うことがあります。

日本では、そのときの生活に合わせて伝統的な和式の良さと洋式の良さを融合させながら暮らしやすいように住まいを発展させてきました。私たちも、和式と洋式、それぞれの住まい方の工夫に気付き、それらを上手に取り入れて生活する方法を考えてみましょう。

資料 洋式の住まい方の特徴



このほか、窓の大きさ、壁の厚さ、壁のつくり、玄関、家の材料などにも、住まいの特徴が見られるよ。



床が畳や板敷きになっている和式の住まいは、部屋を多目的に使えるという特徴があります。例えば畳の部屋にちゃぶ台や座卓を置けば食堂や居間になり、布団を敷けば寝室になります。テーブルや椅子、ベッドなどの家具を使う洋式の住まいでは、部屋の役割がはっきりと決まっています。

兼好法師によって書かれた『徒然草』の中で、日本の住まいについて、「家の作りやうは、夏をむねとすべし。冬はいかなる所にも住まる。」とあります。兼好法師は京都近郊に住み、自然の趣や人間の生き方に深く思いを凝らし、『徒然草』を書きました。

生活様式のイロイロ



床面を生活面として、履物を脱いで生活する

履物をはいたまま、床面を生活面とする

ユカ座とイス座を機能性や趣味嗜好で使い分ける

長所

- ・ 感触がよく、保温性に優れている
- ・ 部屋の転用がしやすい
- ・ 落ち着いてくつろげる

- ・ 起居がしやすく、作業能率がよい
- ・ 大型家具の使用で、部屋の用途が固定化しやすい
- ・ 衛生的
- ・ 介護や看護の動作に伴う身体負担が少ない

- ・ 空間の広さ、身体状況、趣味嗜好に応じて適した様式を利用することができる

短所

- ・ 起居がしにくく、作業能率が悪い
- ・ 介護や看護の動作に伴う身体負担が大きい
- ・ ほこりなどで不衛生になりやすい

- ・ 部屋の転用がしにくい
- ・ 家具を置く広いスペースが必要

図 4-5 生活様式のいろいろ

洋室の特徴

- 部屋の使用に合わせた家具を置くことができる。
椅子や**机**の使用により、立ちすわりしやすく姿勢が楽
- ファブリック、家具、カーテン等の色を、部屋のイメージに合わせるなど選択肢が多い。



洋室の特徴

- ・ 掃除がしやすい
- ・ 音が響きやすい。（生活騒音等の問題）
- ・ 直接寝ころぶといった事ができない。



和室の特徴

- 和室は居間としても、寝室としても使用することができて汎用性が高い。
- 障子や畳などの張替等の費用がかかる事もある。
- 重い家具は置けないので、インテリアコーディネート点では自由度が低い。



イグサの香り成分（熊本産の例）

フィトンチッド〈森林の香り〉・・・20%

バニリン・・・20%

α -シペロン・・・6%

ジヒドロアクチニジオリド・・・10%

その他・・・58%

ジヒドロアクチニジオリド

紅茶に含まれている
芳香成分と同じもので、
他の芳香成分を保香
する働きがあります。
他の植物の発芽およ
び生長を阻害すると言
われています。



バニリン

バニラエッセンスやアロマセラピーの精油、
芳香剤の原料としてなど、様々な製品
に用いられている芳香成分。リラックス
効果を高めるとされています。



本来のイグサは上のような成分が含まれている。

畳の匂いについて

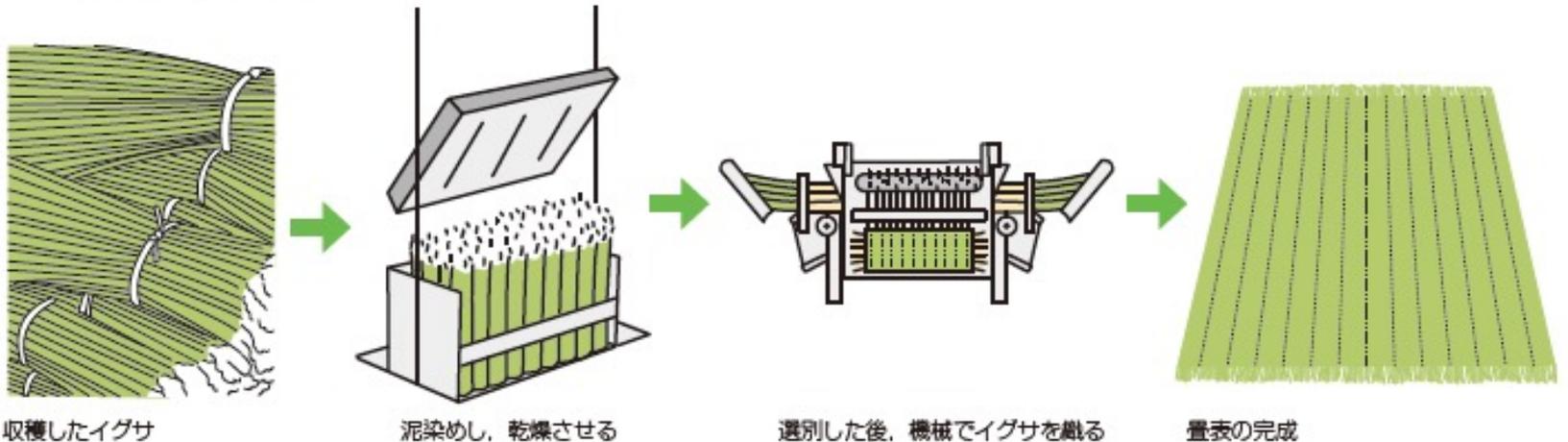
畳の独特な匂いは
この泥染によるもの



←泥染めの作業

2 畳ができるまで

イグサが畳表になるまでには、「収穫」「泥染め」「乾燥」「収納・貯蔵」「選別・製織」「仕上げ」の工程がある。収穫したイグサに色の保護、色の均一化、調湿機能の保持、香気の付与のために泥染めという作業を行う（近年この泥染めを行わない場合もある）。イグサを収穫したら、乾燥させ、選別されたイグサを機械で編み込み、ゴザのような畳表をつくる。



「和室に対して特別な思い入れがあるか」 についての年代比較

	思い入れあり		思い入れなし		合計	
	%	人数	%	人数	%	人数
若年者	24.2	127	75.8	398	100	525
中年者	30.3	154	69.7	355	100	509
高齢者	53.4	141	46.6	123	100	264